



—特集— ^{たすき}襷を胸に 仲間が待つ この先へ
第20回 和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会





長い期間、厳しい練習に頑張ってくれた湯浅チームのみなさん、本当にお疲れさまでした。チームは解散し、寂しなりますが、自分の力を信じてこれからもチャレンジしてください。最後にご支援、ご理解をいただきました関係者の皆様、感謝を申し上げます。

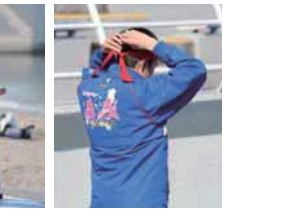
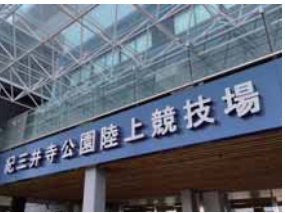


監督 杉原 正晃



湯浅町代表チーム 1:14:07(14位) 湯浅町オープンチーム 1:19:02

2月21日⑩、第20回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が開催されました。湯浅町からは、町内の小中学校から選抜された32名、全2チームが出場し、紀三井寺公園陸上競技場から和歌山県庁までの10区間、21.1kmのコースを全力で疾走し、完走を果たしました。湯浅町代表チームは、湯浅町の歴代最高タイムを11年ぶりに更新する好成績を納めました。これまでの練習の成果を存分に発揮し、32名の想いがひとつになった大会となりました。



大会当日はとても気温が高く、アップを入念に行いレースに臨みました。全員がひとつになつて安定した走りが出たことが、湯浅町の歴代最高タイム更新につながったと思います。努力をすれば実を結ぶという事を実感出来た大会でした。これからも陸上を引き続き頑張っていきたいです。



女子キャプテン 横貫 仁乃
「湯浅中3年」

今回のチームは、小学校5年生から一緒に頑張ってきたメンバーが多く、とてもまとまりのあるチームだったと感じています。苦しい練習もありましたが、それを乗り越えたことで自分達に自信を持つことができました。この駅伝で学んだことをこれからも大切にしていきたいです。



男子キャプテン 増元 惟織
「湯浅中3年」